

適用規格					
定格	使用温度範囲	-55℃ ~ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ~ +50℃ (梱包状態)	
	電圧	AC/DC 30V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下 (結露しないこと)	
	電流	0.2A	適合ケーブル	t=0.12±0.02mm:金めっき	
性能					
項目	試験方法	規格	QT	AT	
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。		
	表示	目視にて確認する。	○	○	
電気的性能	耐電圧	AC 90Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。		
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	50MΩ以上		
	接触抵抗	開回路電圧AC 20mV以下, 1mAで測定する。	200mΩ以下 ※FPC導体抵抗を含む。(測定長 8mm)		
機械的性能	耐振性	周波数 10~55Hz, 片振幅 0.75mm, 3軸方向各10サイクル試験する。	① 1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗: 200mΩ以下 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		
	衝撃	加速度 981m/s ² , 持続時間 6ms, 正弦半波 3軸両方向 各3回試験する。	○ -		
	繰返し動作	10回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 200mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		
	FPC保持力	適合FPCで測定する。 (未使用状態, FPC端末厚 t=0.12mm)	水平方向 0.05×極数+2 N以上 (注)		
環境的性能	塩水噴霧	温度 35±2℃, 濃度 5%の塩水噴霧中に, 96時間放置する。	① 接触抵抗: 200mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。 ③ はなはだしい腐食がないこと。		
	温度サイクル	温度 -55→+15~+35→+85→+15~+35℃ 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3分 に, 5サイクル放置する。	① 接触抵抗: 200mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 50MΩ以上 ③ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃, 相対湿度 90~95%中に, 96時間放置する。	○ -		
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10~+65℃, 相対湿度 90~96%中に, 10サイクル(240時間)放置する。	① 接触抵抗: 200mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 1MΩ以上(高湿時) ③ 絶縁抵抗: 50MΩ以上(乾燥時) ④ 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		
	耐熱性	温度 85±2℃中に, 96時間放置する。	① 接触抵抗: 200mΩ以下		
	耐寒性	温度 -55±3℃中に, 96時間放置する。	② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		
	二酸化硫黄 [JIS C 60068-2-42]	温度 40±2℃, 相対湿度 80±5%, 濃度 25±5ppmに, 96時間放置する。	① 接触抵抗: 200mΩ以下 ② 破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		
	硫化水素 [JIS C 60068-2-43]	温度 40±2℃, 相対湿度 80±5%, 濃度 10~15ppmに, 96時間放置する。	③ はなはだしい腐食がないこと。		
	はんだ付け性	はんだ温度 235±5℃, 浸せき時間 2±0.5秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだでぬれていること。		
	はんだ耐熱性	1) リフローの場合 ピーク温度 250℃MAX 230℃以上, 60秒以内 2) はんだこての場合 350±10℃, 5±1秒間	外観の変形, 及び端子などに 著しいがたがないこと。		
△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
△					
備考 試験規格の記載のない試験方法は, IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。			承認	NF. MIYAZAKI	16.03.08
注) FPCに垂直方向の荷重が加わる場合は, FPCを固定してご使用願います。 FPC未挿入の状態でお知らせください。 本製品は, 上接点仕様です。			検図	HS. SAKAMOTO	16.03.08
			担当	YH. MICHIDA	16.03.07
			製図	RN. IIDA	16.03.07
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC-322505-99-00		
HRS	製品規格表		製品名	FH42-**S-0.3SHW(99)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL580	△ 1/1